

基本計画

大山崎町まちづくりビジョン2025 前期基本計画



第1節 策定の趣旨、期間

1-1 策定の趣旨

基本計画：大山崎町まちづくりビジョン 2025・前期基本計画は、基本構想：大山崎町まちづくりビジョン 2025 で示す「まちの将来像」や「まちづくりの基本目標」の実現に向け、26の施策分野ごとに今後5年間の取り組む方向を示すものとして定めます。

1-2 基本計画の期間

基本計画：大山崎町まちづくりビジョン 2025・前期基本計画の期間は、平成28年度（2016年度）から平成32年度（2020年度）までの5年間とします。



【基本計画：大山崎町まちづくりビジョン 2025・前期基本計画の構成】

序
論

基本構想

基本計画
自然・環境基本計画
産業・都市基盤基本計画
防災・健康・福祉基本計画
教育・生涯学習基本計画
まちづくりの進め方資
料

基本計画の見方

基本計画
大山崎町まちづくりビジョン 2025・前期基本計画

施策の分野を示しています。

防災・健康・福祉分野

当該分野における10年後にめざす姿を示しています。

めざす姿
(施策目標)

生涯にわたって一人ひとりが、主体的に継続して健康づくりに取り組んでいる

当該分野における本町の現状や課題、社会の潮流等を示しています。

【現況と課題】

- 生活水準の向上や医学の進歩などにより、平均寿命が延び、我が国は世界有数の長寿国となっていますが、その一方で、生活習慣病の発症やその重症化などにより要介護状態となる人が増加しています。
また、急速な少子高齢化の進行により、医療や介護に関する負担が大きくなることが予想されています。活力ある社会を実現し、維持していくためには健康寿命の延伸が喫緊の課題となっています。
- 本町では、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患の三大死因が死亡原因全体の約6割を占めています。
- 住民意識調査による「健康づくり」の満足度は、「よい」が14.0%、「よくない」が6.4%と、8割程度の人が「ふつう」と評価しています。
- 健康寿命の延伸に向け、本町の抱える健康に関する課題を明確にしたうえで、町民一人ひとりの主体的かつ継続的な健康づくりの推進が必要です。
また、一人ひとりの健康を支えるための社会環境づくりを進めることが必要となっています。
- こころの健康づくりでは、特に自殺対策について、京都府や乙訓保健所と連携し、地域課題に対応した取り組みやゲートキーパーの養成など、きめ細かな寄り添い支援を担う人づくりを進めることが求められています。

統計データは、本町のデータを示しています。統計表中で、特に注記しない限り「年次」は1月～12月、「年度」は4月～翌年3月までの1年間の状態を示しています。

死亡原因に占める三大死因の割合
(平成20年度～平成24年度)

死因	大山崎町	京都府	全国
悪性新生物	33.6	30.6	29.4
心疾患	16.2	17.2	15.8
脳血管疾患	6.8	9.0	10.3
合計	56.6	56.8	55.5

資料：人口動態統計

住民意識調査結果の図中にある「n」は回答者数を示しています。

「健康づくり」の満足度

満足度	今回調査(n=563)	前回調査(n=505)
よい	14.0	14.3
ふつう	79.6	76.2
よくない	6.4	9.5

資料：住民意識調査

住民意識調査結果の“よい”は「よい」と「ややよい」の合計で、“よくない”は「ややよくない」と「よくない」の合計です。端数処理の関係により、合計しても100%にならない場合があります。

66

調査結果は、前回調査と比較するために、「不明・無回答」を除いた集計結果を掲載しています。
なお、表中の「今回調査」は、平成26年度に実施した住民意識調査、「前回調査」は平成21年度に実施した住民意識調査を指します。また、文中にある「小中学生調査」は、平成26年度に実施した調査を指します。

【防災・健康・福祉分野】

○ ころとからだの健康を維持していくために「食」は欠かせません。ライフステージに応じた食育とともに、家庭や地域、学校での食育に関する取り組みの充実を図ることが重要となっています。



【言葉による施策の成果目標】

- 生涯にわたって一人ひとりが、自分自身のころとからだの状態を理解し、継続的に自分にあった健康づくりに取り組んでいます。
- 一人ひとりが主体的かつ継続的に健康づくりや食育に取り組むことができる環境や仕組みが構築されています。

【施策の成果の達成を測る指標】

指標名	現状値	目標値		補足
		平成32年度	平成37年度	
健康寿命	男性 80.9 歳 女性 85.5 歳 (平成 24 年)	1 歳延伸	維持	男女別の健康寿命 ※京都府算出分
「健康づくり」の満足度	14.0% (平成 26 年度)	19.0%	24.0%	住民意識調査で「よい」と答えた人の割合

【関連する個別計画】

- 大山崎町子ども・子育て支援事業計画
- 大山崎町第7次高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画
- 大山崎町第2次男女共同参画計画 みとめ愛プラン

【用語解説】

健康寿命：健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間をいう。
 ゲートキーパー：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のこと。
 食育：生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

67

序
論

基本
構想

基本
計画
自然・
環境

基本
計画
産業・
都市基
盤

基本
計画
防災・
健康・
福祉

基本
計画
教育・
生涯学
習

基本
計画
まちづ
くりの
進め方

資
料

10年後にめざす姿（施策目標）に向けた中目標を示しています。

施策目標、言葉による施策の成果目標の達成を測るための指標を示しています。目標は平成32年度と平成37年度です。

当該分野に関連する個別計画を示しています。



